

「工芸デザイン」分野を新設しました

工芸デザインとは

伝統的に受け継がれてきた手仕事の技術に、デザイン思考やマーケティング、デジタルスキル等の要素をプラスすることで、アートの表現力とデザインの思考力をあわせ持つ新しい分野です。アートとデザインのそれぞれのスキルを融合させ、「大量生産では実現できない」モノづくりと「課題解決の仕組みをつくる」コトづくりで、現代社会の諸問題解決に取り組みます。

「自社技術を使って新製品を作りたい」、「みんなに親しまれるモニュメントが欲しい」「工芸技術を活かした空間演出がしたい」など様々なご要望に、伝統技術による手仕事・複合素材・デザインの力でお応えします。お気軽にご相談ください。

4つの素材

陶、漆、金属、繊維・染織

事業領域

金属加工、陶芸、漆芸、繊維加工、染物、織物、インテリア、空間演出、伝統工芸、ジュエリー、ファッション、ファブリック、モニュメント制作

研究員

藤田 謙（工芸デザイン学科 教授）／ 金工
坂井 直樹（同 准教授）／ 金工
深井 聡一郎（同 教授）／ 陶芸・彫刻
佐々木 理一（同 准教授）／ 陶芸
安達 大悟（同 准教授）／ テキスタイル、染色
松本 由衣（同 専任講師）／ 漆芸、クラフト

実例

- ・置賜紬のプロモーションおよび新製品提案（山形県）
- ・伝統工芸の技術を使用した新製品提案（山形市）
- ・エスパル仙台開設 45 周年ショーウィンドウ空間構成（JR 東日本企画）
- ・山形市水道通水 100 周年記念モニュメント制作（山形市）
- ・エスマール創設 20 周年記念オブジェデザイン（株式会社庄交コーポレーション）
- ・でん六新社屋展示作品制作（株式会社でん六）
- ・多賀城市創建 1300 年記念モニュメント制作（多賀城市）

